

# 令和2年度 三八地区特別支援連携協議会の取組について

三八地区特別支援連携協議会は、発達障害を含む全ての障害のある幼児児童生徒とその保護者に対する教育相談を含め、特別支援学校の地域における特別支援教育のセンター的機能を活用し、教育、医療、保健、福祉の関係機関が連携し、一貫した支援体制のさらなる充実を図ることを目的としています。今年度は、コロナ禍のために実施できない活動もありましたが、たくさんの関係機関の協力の下、1年間の活動を無事に終えることができました。主な活動2つを紹介します。



## 三八地区特別支援連携協議会（本会）

現在の連携機関は41機関です。この連携機関が一堂に集まり顔合わせや情報交換などを行う年2回の本会ですが、今年度は残念ながら1回だけの開催となりました。6月に開設したばかりの八戸市総合保健センターを会場に、11月26日（木）に開催することができました。

情報提供では、「八戸市総合保健センターの取組について」のお話を、八戸市保健所健康づくり推進課山村母子保健グループリーダーと八戸市こども支援センター佐藤指導主事よりいただきました。会終了後には、八戸市総合保健センターの乳幼児健診のエリアやこども支援センターの相談室などの施設見学を、希望者にさせていただきました。八戸市で取り組んでいる保健と教育等の連携について、改めて重要性を感じました。

もう一つの情報提供として、「青森県作業療法士会の取組について」を青森県立あすなろ療育福祉センター秋元作業療法士とはまなす医療療育センター橋本作業療法士からお話いただきました。作業療法士の視点からみた特別支援教育の手法を知ることができ、大変好評でした。



## 個別の教育支援計画等の活用に関する研修会（三八地区）



この研修会は県の重点事業「令和2年度地域における特別支援教育相談体制強化事業」の一環として、県内地区連携ごとに企画運営しています。通常の学級における個別の教育支援計画及び個別の指導計画の活用に関する情報を提供することで、作成率の向上と引継ぎ等における関係機関との連携の強化に資することを目的としています。

今年度は三八地区高等学校及び三戸郡内の小・中学校の先生方を対象に、南部町総合保健福祉センターゆとりあを会場として、12月25日（金）に開催しました。三戸町立三戸中学校花田教諭と、青森県立八戸中央高等学校村井教諭、野田教諭に、各校の実践発表をしていただき、その後に、三八教育事務所今田指導主事より講演いただきました。来年度は、三八地区高等学校と八戸市内小・中学校の先生方を対象に計画する予定です。